



ウィハン 弦楽四重奏団

with 中山育代

Piano

2017年 11月 26日 日

14:00 開演 (13:30 開場)

音楽の友ホール

PROGRAM

ビートルズ (ルボシュ・クルティカによる弦楽四重奏編)
The Beatles エリナーリグビー Eleanor Rigby
ブラックバード Blackbird
キャントバイミーラヴ Can't Buy Me Love
ジュリア Julia
カムトゥギャザー Come Together
ヒアカムズザサン Here Comes The Sun

ブラームス:ピアノ五重奏曲 ヘ短調
作品34 第三楽章、第四楽章

J.Brahms : Piano Quintet in F Minor, Op.34 Mov.3 Mov.4

—Intermission—

エルガー:ピアノ五重奏曲 イ短調 作品84

E.Elgar : Piano Quintet in A Minor, Op. 84

16:00 終演予定

※プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。



チケット取扱い:

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター対応)
営業時間 10:00~19:00 (休館日除く)
<http://www.t-bunka.jp/>

カンフェティチケットセンター 0120-240-540
営業時間 10:00~19:00 (土・日・祝日除く)
<http://www.confetti-web.com/>

JILAチケットセンター 03-3356-4140
営業時間 10:00~18:00 (土・日・祝日除く)
http://www.jila.co.jp/?page_id=4176

6,000円
(全自由席・税込)

主催: 国際芸術連盟

後援: 駐日チェコ共和国大使館 日本チェコ協会 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

サロン風ホールでの息をのむような 極上の時間 トークと共に

PROFILE

ウィハン弦楽四重奏団

レオシュ・チェピツキー Leoš Čepický <第1ヴァイオリン>

ヤン・シュルマイスター Jan Schulmeister <第2ヴァイオリン>

ヤクブ・チェピツキー Jakub Čepický <ヴィオラ>

マチェイ・ステパネク Matěj Štěpánek <チェロ>

ウィハン弦楽四重奏団はチェコを代表するカルテットのひとつである。「ウィハン」の名は、チェコの歴史的な楽団であるボヘミア弦楽四重奏団の創立者「H.ウィハン」の名を冠したものである。メンバーがブラハ芸術アカデミーの学生であった1985年に結成された。2015年で結成30周年を迎えた彼らは母国チェコの伝統を受け継ぐものとして名声を築き上げ、「今日世界で最も優れたカルテットのひとつ」(インターナショナル・レコード・レビュー)と評されるまでになった。1988年ブラハの春国際コンクール第1位入賞を皮切りに、トラパニ国際室内楽コンクール第1位、大阪国際室内楽フェスタ銅賞等、多くのコンクールで受賞を重ね、91年ロンドン国際弦楽四重奏コンクールでは第1位及び聴衆賞に輝き、審査員長であった故Y.メニューインから激賞された。以後、ヨーロッパにとどまらず、アジア、アメリカ、オーストラリア、ニュージーランド等にも活躍の場を広げ、喝采を博している。95年初来日時の彼らの演奏はその年に来日した海外の著名な室内楽団をおさえて95年度の“マイベストコンサート”(「音楽の友」誌)に堂々1位に推された。2008年ブラハにおいてベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏を果たし、ロンドンのブラックヒースホールにても同様に演奏を行った。そのブラハでの画期的なコンサートが収められたCDとDVDはニンプス・アライアンスよりリリースされ、多くの称賛を浴びた。また同レーベルより数々のCDがリリースされているが、そのどれもが高い評価を得ている。12、13年にはチェコ室内楽協会のレジデント・アンサンブルを務めた。現在はロンドンのトリニティ・ラバン・コンサヴァトワール大学でレジデントを務め、王立音楽アカデミーにおいても後進の指導にあたっている。14年6月より結成当初からのヴィオラ奏者イジー・ジックモンドは一身上の都合により活動を休止することとなり、ヤクブ・チェピツキーがヴィオラを務めている。ヤクブは第1ヴァイオリンを務めるレオシュの息子であり、チェコで優れたヴァイオリン、ヴィオラ奏者として名を馳せている。また、2017年3月にはチェロのアレシュ・カズブジークに代わり新進気鋭の若手チェリスト、マチェイ・ステパネクがサポートメンバーとして加入。チェコ・フィルハーモニー管弦楽団でプレイするなど確かな実力の持ち主である。ウィハン弦楽四重奏団は今回で15回目の来日となり、その類まれなアンサンブル技術と、チェコ特有の哀愁を帯びた美しい音色は、今日世界中のファンを魅了し続けている。

<http://www.wihanquartet.co.uk/>

中山育代 Ikuyo Nakayama <ピアノ>

武蔵野高等学校を経て武蔵野音楽大学卒業。美坂理子、市田儀一郎、桑原淑子、林田皇太郎、本莊玲子の各氏に師事。ウィーン国立音大、モスクワ音楽院、ミュージックキャンププラハの講習会に参加し、W.ヴァッツィンガー、V.トイフルマイヤー、P.エフラー、E.リヒテル、K.ピリンスカの各氏に師事。その他、N.トゥルーリ、O.ギャルドン、S.ビュークナー、M.ロイシュナー、K.バート、C.ヒンターフーバー、S.アーノルドの各氏のマスタークラスを受講。P.I.A. Japan音楽コンクール金賞及び特別賞、「万里の長城杯」国際音楽コンクール第3位をはじめ、東京サミット音楽コンクール、ペトロフピアノコンクール、TIAA全日本クラシック音楽コンサート、第6回21世紀ピアノコンクール等、入賞多数。王子ホール、ヤマハホール、渋谷区文化総合センター大和田伝承ホール、ハクジュホール、サントリーホールブルーローズ等での演奏会に多数出演。ソロはもとよりアンサンブルにも力を注ぎ、ウィハン弦楽四重奏団とは2013年に続き2度目の共演となる。2014年、2016年にはチェコのシュターミッツ弦楽四重奏団と共演。2013年リリースのCD[at home Wedding Vol.2]にチェコの作曲家スークの「愛の歌」の演奏で参加。2008年にブラハで出会った「弦の国・チェコ」の情熱的かつ哀愁を帯びた響きに魂をつかまれて以来、その素晴らしさを伝える活動をしている。また、2015年オーストリアでルーマニア国立歌劇場オーケストラとベートーヴェンの「皇帝」を共演して好評を博し、ヨーロッパでそのライブCDが発売された。全日本ジュニアクラシック音楽コンクール審査員、国際芸術連盟専門家会員、東京芸術協会会員。

MAP

〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30



ACCESS

東京メトロ東西線 神楽坂駅 1 番出口から徒歩約 1 分

都営地下鉄大江戸線 牛込神楽坂駅 A3 出口から徒歩約 7 分

東京メトロ東西線 飯田橋駅 B3 出口から徒歩約 11 分

JR 飯田橋駅から徒歩約 12 分



〒160-0022 新宿区新宿2-15-2 岩本和裁ビル 2階

TEL.03(3356)4033/FAX.03(3356)5780

URL www.jila.co.jp/ E-mail music@jila.co.jp

コンサート・イベント・マネジメント/コンクール・オーディション

チラシ・ポスター印刷/コンテンツ配信サービス/招聘業務

CD制作・楽譜出版・販売/講演講師・演奏家・朗読家派遣/レンタルスペース

